

# 稲門フィラテリー

第79号

2021年3月1日発行

## 切手でたどるリトアニア国家回復(独立)100年 (第2回)

荒木 寛隆

### 6. ドイツ軍侵攻

20世紀初頭において、ヨーロッパは元より世界の大半の人々にとってリトアニア民族は忘れられた存在だった。1914年6月28日、サラエボでオーストリア・ハンガリー帝国皇太子が暗殺された事件を契機に始まった第一次世界大戦はヨーロッパの民族運動に火をつけ、勢いを増して行く。英仏両国と三国同盟を結んでいるロシアがセルビア側に付くと、オーストリア・ハンガリーと同盟国だったドイツ連合軍との戦争に突入し、第一次世界大戦へと発展していった。ロシアが過去のポーランド分割の解決を持ち出したことでリトアニア人はスヴァルキア地域(図12. マリヤンポ

市を含むリトアニア南西部の青色地域)のリトアニア人がポーランドの支配下に入るのはないだろうかと云う懸念を強くして、ロシア国会でリトアニア人議員がリトアニア人居住地域を一つとした上で、諸民族が共生する中で自治を享受することを宣言した。他方でプロイセン議会のリトアニア人議員ヴィリョス・ガイガライティスは大リトアニア(\*図12)をドイツに併合するよう望むとリトアニア人を代表して述べていた。つまり、リトアニア人は戦争当事国のどちら側においてもリトアニアの統一を望んでいた。リトアニアの統一と自治と云う考えはヨーロッパを超えてリトアニア人が多く住む米国にも広まっていった。

リトアニアに侵攻したドイツ軍は1915年春にはリトアニア第2の都市カウナスを制圧し、9月15日にはヴィルニユスに進軍して1875年の分割でロシア領となっていたポーランドとリトアニア領域は全てドイツとオーストリー軍の支配下になった。1915年11月に前線が落ち着いてくるとドイツ軍東部全軍最高司令官と呼ばれる軍当局(Oberost/ 図13、14)が設置され、1916年6月にはヴィルニユス州とカウナスを中心とするリトアニア州が一つになり、1918年にはリトアニア軍当局が設置された。図15と



(図12) 小リトアニア(赤色地域)と呼ばれるクライペダ地域とロシア・カリーニングラードを含む地域に対して、大リトアニアは上述両地域を除くリトアニア共和国全域を指す。



図.13 & 14 Ober ost 地域



図 15 ドイツ  
Ober ost  
加刷切手

図 16 はドイツが Ober ost 地域で使用した加刷切手とドイツ軍検閲印付きのヴィルニウスからポーランド宛の書留実通便である。

### 7. 「自治」要求から「独立国家」回復へ

ドイツ占領下のリトアニア人政治指導者は1916年にローザンヌで開催された被抑圧民族会議で初めてリトアニアの独立を宣言したと云う意思を示したが、ドイツ占領軍は独立の検討を認めなかった。戦争が終盤になってドイツはこの要求を無視した。他方、プロイセン議会が併合・編入計画を改定すると占領地域においてリトアニア人が必要とされ、1917年夏、リトアニア人がヴィルニウスで会議をすることが許可された。ヴィルニウス会議(図10右、図17絵葉書)は1917年9月18～22日にヴィルニウス市の劇場で開かれ、社会階層や党派の異なる代表者を各郡5～8人を選び、リトアニア全土から集まった代表者213人と新たに招待された9人が出席した。中でも多かったのは、聖職者(66人)、農民(65人)、そして知識人(59人)だった。会議ではリトアニアの独立国家像



図 16. ドイツ占領 Ober ost 地域時代のヴィルニウスから旧ポーランド領宛 検閲印付書留実通  
(紫色の M.P.K. ゴム印はケーニヒスブルグ (現ロシア領カリーニングラード) 軍事郵便印付き)  
1916.08.02 WILNA( 現 Vilnius/Lithuania) → 1916.08.05 WOISCHWITZ(Poland)



図 17.  
ヴィルニウス会議  
絵葉書記念特印



図 18. スメトナ  
(1922.9.27 発行)

が決議され、会議の出席者は 20 人からなるリトアニア評議会創設を決定した。評議会はリトアニア住民の行政機関として 9 月 24 日から活動を開始した。評議会議長に

は独立後に大統領を務めることにもなる法学者でリトアニア語新聞の編集者だったアンタナス・スメトナ (図 18) が就任した。

評議会ではリトアニア新国家の境界線をどこに設定するかが最重要なテーマとなり、現在の領域に近い「固有のリトアニア地域内における民族領域を基にする」と云う方向性は示されたものの国際情勢が変化するにつれて領土計画も変更され、どのくらいの規模になるのかは誰にも分らなかった。1917 年 4 月に米国がドイツに宣戦布告するとアメリカ始め在外リトアニア人団体と国内団体との連携は深まっていった。

### 8. 1918 年 2 月 16 日宣言 (独立宣言)

1917 年末にドイツはソ連との単独講和に向けた交渉に乗り出し、1918 年に入るとドイツの敗北は明きらかとなり米国との講和交渉に入った。更に、ロシアとの交渉を有利に



図 19. リトアニア国家復興 100 年シリーズ第 4 集シート貼り FDC 実通便 (2018.02.09 発行)  
カシェ図案は独立宣言書 (1918.2.16) に署名した評議会メンバー 20 名の写真。  
写真前列中央に議長のヨナス・バサナヴィチユース、  
その左隣 (正面向かって右) には初代大統領アンタナス・スメトナ

運ぼうとして Ober Ost 当局はドイツと結合するリトアニア国家の樹立を宣言するようリトアニア評議会に迫ったものの、最終的にリトアニアの国家樹立すら認めなかった。1918年2月16日リトアニア評議会は「民族自決権に基づいてヴィルニウスを首都とする民主的な独立国家リトアニアを回復し、他民族との間にあった国家関係をすべて破棄する」決議案を採択した。これは実質的なリトアニアの独立宣言であった。2月16日の宣言は国民の希望や願望が込められており、国民の自由と主権の象徴であった。ロシア領であり、ドイツ占領下での独立宣言が国際的にも真の独立国家となるには更に数年の歳月が必要だった。「リトアニア国家復興 100 年シリーズ」第 3 集 (図 19/ 前頁) の左側切手にリトアニア評議会が独立宣言を行った建物 (現在は宣言調印記念館) を、右側切手に 20 名の評議会議員が調印した独立宣言書 (\*) を描いている。また、FDC カシエは独立宣言に署名した 20 名の評議会 (Taryba) 議員全員の記念写真である。

### 9. 独立国家の体制整備

ロシア領であり、且つ、ドイツ軍占領下のリトアニアにとって2月16日の独立宣言は「独立の始まり」でしかなかった。

\* 行方不明だった独立宣言原本が2017年3月29日にドイツ外務省公文書保管庫でリトアニア・ヴィタウタスマグナス大学のリウダス・マジリス教授により発見された。原本はリトアニア語とドイツ語の2通からなり、夫々に20名の議員の署名がある。100年記念シート (図 19) の右側切手にはリトアニア語の、切手に続くシート地にはドイツ語の独立宣言書が描かれている。



図 20.  
ヴォルデマラス  
(1922.9.27 発行)

ロシアとドイツの二つの帝国が苦戦し、更に両国で革命が勃発したことでリトアニアにとっては新たなチャンスが到来した。評議会は当時行政機関を整え、国家主権を奪取しようと根気強く活動を続けていた。1918年11月、評議会は暫定憲法を制定し、リトアニア国家評議会が国の立法機関であると定め、アンタナス・スメトナ議長など評議会幹部3名及び内閣が政府の行政機関であると決議した。また、評議会は新たにドイツ宰相となったマックス・フォン・バーデンの承認のもと、歴史学者のアウグスティナス・ヴォルデマラス (図 20) を首相に任命し、1918年11月11日にヴォルデマラス内閣を発足させた。困難な状況下で国外からの圧力受けながらも評議会はリトアニアの独立問題を前に進め、ドイツの従属から離れようとした。

更に、短期間で政府を樹立して地方行政機関を整えたことにより、国内左派だけでなく



[ 図 .21 リトアニア現代制度 100 年シリーズ第 1 集 (2018.10.12 発行) ]

連合もリトアニア評議会を認めざるを得なくなった。

リトアニア独立 100 年記念の第 2 弾として発行されたのが「リトアニア現代制度 100 年」シリーズである。第 1 集 (図 21) は軍事・外交・司法、立法制度に関する切手 4 種で構成されている。図 21(シート上左) は 1918 ~ 1940 年第 1 次共和国時代のリトアニア軍の装甲車が描かれている。図 21(シート上右) は独立初期のリトアニア外交に貢献したりトアニア初の臨時全権委任公使ユルギス・シャウリーが描かれている。彼は独立宣言署名者の一人でもある。図 21(シート下左) はリトアニア初の女性裁判官エレナ・ヤッケヴィチュウテ女史である。図 21(シート下右) はリトアニア共和国政府最初の内閣であるアウグスティヌス・ヴォルデマール内閣の最初の閣議



図 22. ボーイスカウト  
設立 100 年  
(2018.03.03 発行)



図 23. 女性参政権 100 年  
(2018.10.26 発行)

\* 1893 年にニュージーランドが世界で最初に女性参政権を認めている。

写真である。

独立宣言をした 1918 年 3 月 30 日にはボーイスカウト連盟が設立され (図 22)、11 月 2 日には当時ヨーロッパ



図 24. 「切手発行 100 年」と記念特印  
(2018.11.30 発行)

のみならず世界でも 2 番目の女性参政権 (図 23/ \*) が決議された。

また 11 月 30 日には「リトアニア郵便」が設立されるなどの現代に繋がる制度が続々と生まれた。そして、12 月 27 日には遂に待望の素朴ながらリトアニア国内で印刷 (凸版) されたリトアニア「一番切手」 (図 24) が発行された。

## 10. 独立防衛戦争とヴェルサイユ条約

ヴェルサイユ条約の交渉過程でドイツは連合国側のバルト三国の各臨時政府に権力を移譲したが連合国はソ連・ボルシェヴィズムに対する防波堤としてドイツ軍がバルト地域に留まることを要求した。一方、独立宣言をしたものの連合国側のリトアニアに対する関心は低く、連合国側のリトアニア国家の法的承認への動きは鈍かった。

独立国家の体制整備に励むリトアニアは軍事面でも苦境に立たされていた。1918 年 11 月時点で、撤退するドイツ軍を追撃するためにリトアニアに侵入したボルシェビキ赤軍に対抗する軍隊をリトアニアは保有していなかった。ヴォルデマラス内閣に代わったミーコラス・スレジエヴィチュス内閣は急遽リトアニア軍を創設してドイツ軍の支援の

下で戦い (図 25/ リトアニア独立闘争)、カウナス - アリートゥス前線



図 25. 独立闘争 100 年  
(2019.02.01 発行)

で赤軍の前進を喰いとめることが出来た。これを機にリトアニア軍は兵力の増強を急ぎ、1919年6月には6,000人の規模にまで達した。

更に、「従軍と引き換えに土地が与えられる」と発表すると約12,000人に達し、1919年夏には赤軍をリトアニアから撤退させることに成功した。秋にはウスリー・コサックのパヴェル・ベルモントが率いるロシア人とドイツ人混成軍である「ベルモント軍」をも破った。



図 26. アンタナス・スメトナ初代大統領就任 100 年記念絵葉書及び記念特印 (2019.04.04 発行)  
 【絵葉書】(左)アンタナス・スメトナ初代大統領、(右上)1928 年当時の大統領公邸、(右下)大統領公邸小応接とスメトナ大統領  
 【記念印】1928 年当時の大統領公邸を描く

それでもリトアニアの国家承認は進まなかった。1919年初めに行われたヴェルサイユ講和会議の正式参加国として認められず、リトアニア代表団は舞台裏で活動するしかなかった。同年4月4日リトアニア国家評議会でもリトアニア初代大統領に選出されたアンタナス・スメトナ(図 26/ 絵葉書)は国内の政治的安定を図り、講和会議での国家承認に努めたが、それでも連合国は「ロシアは不可分」であると云う原則に基づき新国家の承認を避けていた。

この間にリトアニア軍が赤軍やベルモント軍などの侵略軍を追い出した事実が連合国に次第に認識され、イギリスからは政治的支援を、アメリカからは物質的支援を、フランスからは軍事的支援を得て、遂に1919年9月26日にはイギリスがリトアニアに対して事実上の国家承認を公式に表明した。1919年中にはノルウェー、ラトビア、フィンランドから国家承認され、1920年5月にはフランス、同年7月にはポーランドもリトアニアを国家承認した。

更に、7月14日にはソヴィエトロシアとの講和条約が締結された。リトアニア現代制度 100 年シリーズ第 2 集(次頁図 27)は1919年創設の諸制度を採り上げている。次頁図 27.の上段ラベルと切手(上段右)は国家にとって最も重要な機関の一つである「国家監査局」の公文書の一部が描かれている。図 27. 下段左切手は1919年6月27日に創設された非政府

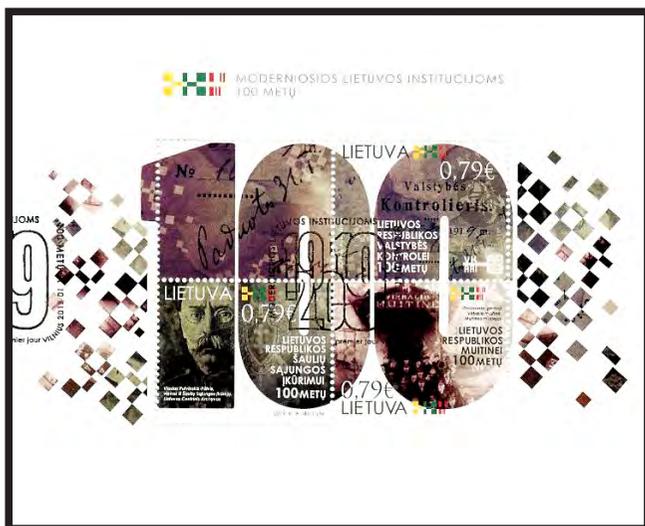


図 27. リトアニア現代制度 100 年シリーズ 第 2 集 (2019.01.11 発行)

\* 狙撃兵連合は再独立直前の 1989 年 11 月には国外追放された旧民兵などによって再興されソ連軍のカウナス侵攻防衛などにも活躍し、現在も「リトアニア狙撃連合規則」は国会、防衛省に承認・実証されており、リトアニア狙撃連合同司令官任命は防衛大臣の専任事項とされている。

組織だが国家支援の民兵組織である「リトアニア狙撃兵連合」の創設の有力者ブラダス・プトゥヴィンスキス=プートヴィスの肖像である。1918 年に侵入したボルシェビキ赤軍を始めとして、西部ロシア義勇兵ベルモント軍やポーランド軍との闘争では弱体の政府軍を支援する民兵組織としてリトアニア独立に多大な貢献をした組織が狙撃兵連合の始まりである。「狙撃兵連合\*」は 1919-1940 年代にリトアニアの文化、スポーツ、軍事訓練の三分野で活躍した。

図 27 下段右切手はリトアニア初の、そして最大の税関の一つであるヴィルバリア (Virbaliai) 税関 (現ソ連飛び地カリーニングラードとの国境にある税関) 建物と税関職員たちの写真である。リトアニア領土をソ連がリトアニアに奪回された時は税関との戦いでもあった。1940 年に再びソ連に占領され



図 28. 赤十字 100 年 (2019.05.03 発行)

た際には多数の税関職員がシベリアに流刑された。勿論、ある者は銃殺され、ある者は西側へ脱出した。国家主権を象徴する独立組織としての

リトアニア税関の存在意義は大きかった。1919 年 5 月 3 日には「リトアニア赤十字」が設立され、同年 7 月 12 日にはカウナス市に「タダス・イヴァナウスカス動物博物館」が開設された。

これらを祝って 2019 年にリトアニア赤十字 100 周年を祝う記念切手 (図 28 / リトアニア国旗と赤十字旗) と動物博物館 100 年記念絵葉書 (図 29 / 印面には創設者 Tadas Ivanakauskas 氏を描き、小型印には沢山の動物の足型が描かれている) が発行された。

(第 3 回に続く)



図 29. タダス・イヴァナウスカス動物博物館 100 年 (2019.07.12 発行)

(右図) 絵葉書印面と記念特印



# 開港当時の在日欧州系商館発着書簡（1）

小林 彰

## はじめに

現在、手紙を国内外に出状する場合、用件を記した便箋を封筒に納め、宛名とその所在地を封筒表面に、差出人名を日本では封筒裏面に、西欧では表面もしくは裏面に記載し、適正料金の郵便切手を貼付してポストに投函する、あるいは郵便局窓口で差出すのが全世界共通の方法であり常識であろう。

しかし 1875(明治 8) 年頃までは違った。封筒を使わず、便箋の文面を内側にして折り畳み、外側に名宛人と差出人を記し、適正料金を差立局に支払うか、切手を貼付するか、もしくは着払として引受局経由で出状するのが一般的であった [図 -1]。

封筒使用の場合、封筒内に納められた書状は受取人が破棄することが多く、書状入封筒

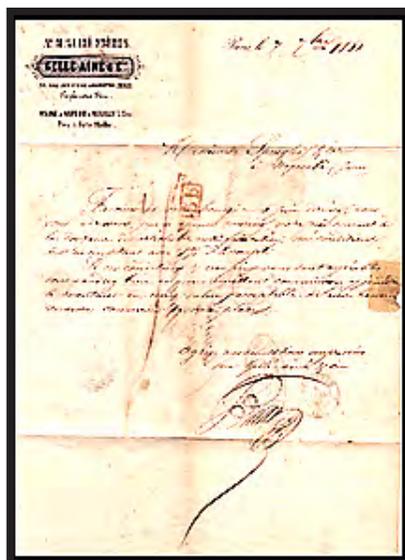
が郵趣市場に現れることはひじょうに少ない。従って本稿で紹介する書簡はすべて折畳式である。

ところで当時の居留地貿易での取扱い主品目は生糸・絹であり書状からもこの事実は裏付けられた。従って、本稿では先ず居留地貿易と養蚕について状況を見る。その上で商館の概要と発着書簡の内容とを下記項目に従って紹介する。

1. 居留地貿易
2. 生糸取引
3. 居留民の諸相
4. 発着書簡
5. まとめ



宛名面



書状面

[図 -1] 1860 年 9 月 7 日 パリ差立→香港経由

→ 11 月 14 日 長崎・スペンダラー商会着 折畳式書簡

## 1. 居留地貿易

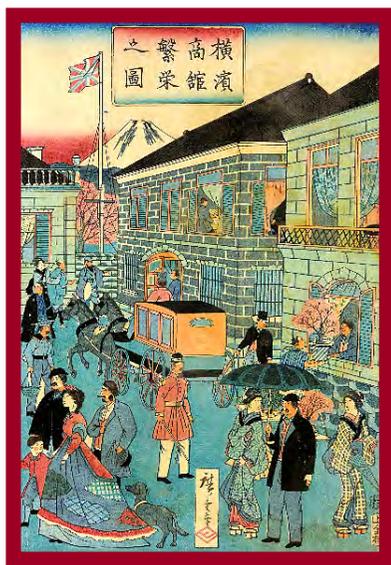
横浜開港資料館編「横浜外国人居留地」(有隣堂1998年)《居留地貿易の展開》によれば、旧条約のもとでは外商(外国人貿易商)は内地(開港場以外の土地)での通商権を認められておらず、輸出品の売込商は輸入品の取引商など横浜の内商(日本人貿易商)と取引する他なかった。生糸の場合、売込商が前貸などを通じて荷主(仲買人や製糸業者)を金融的に支配し独占的に集荷体制を築いていた。また、外商が望んでも荷主から直接購入できない体制がつけられていた。この仕組みを居留地貿易と呼んでいる。他方、内商が外商を通さず直接輸出入を行うことはなかったが、条約上は何の制限もなかった。しかし実際には外商が大きなシェアを占め続けた。当時の商館錦絵[図-2]。

## 2. 生糸取引

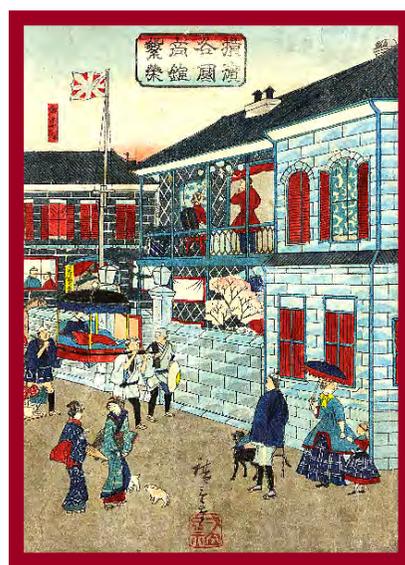
(財)シルクセンター・元専務理事・安藤雅之氏講演記録2002年3月刊「横浜開港と横浜への絹の道」から欧州の事情を要約する。

19世紀前半、世界の絹製品最大の消費地は欧州であり、フランス、イギリス、イタリアが中心で、その原料の生糸生産地はフランスとイタリアであった。不足分は清国から輸入した。ところが、1845年頃から欧州では微粒子病という蚕の病気が流行し始め長期間蔓延し[註:微粒子病はフランスの細菌学者ルイ・パストゥールにより発見された]、日本開国当時、欧州での生糸生産量はひじょうに落ち込んでいた。他方、清国では1840頃から「アヘン戦争」が始まり、また1850年から1864年にかけて「太平天国の乱」で混乱していた。このため世界的に品不足状態だった。開国後の日本でたいへん質の良い生糸が入手できることが分かり、欧州側も日本からの買付を図った。日本に目を向けた別な要因として、日本製生糸は清国や国際相場に比べ安値であったことが挙げられる。

日本で生糸貿易が栄えた要因として2点が挙げられる。第一に良質な生糸を生産する素地があったこと。第二に横浜に向けての輸送ルートが出来ていたこと。なお馬事年史(日



[図-2-2] 三代歌川広重画「横浜商館繁栄之図」  
1871年セインズベリー日本藝術研究所館蔵



[図-2-1] 三代歌川広重画「横浜各国商館繁栄」  
1870年セインズベリー日本藝術研究所館蔵



[図-3] 歌川房種画「蚕養草」1865年ボストン美術館本競馬会発行)によると、文久3年のところに「是歳秋仏蘭西皇帝ナポレオン三世より馬牝牡26頭を幕府に贈らる。これ我徳川幕府より蚕種数万枚を贈れるに依って是に報える也」[註：蚕種とは蚕の卵]とある。フランス皇帝が幕府の蚕種贈与に対して選りすぐった名馬を26頭も贈ってきたことは、フランスが日本の蚕種を如何に高く評価していたかを日本に知らせ、単なる商取引ではなく心からの感謝と将来の蚕種、生糸輸出への期待を込めたものであったのだろう[図-3]。

郵趣界の重鎮、故・牧野正久氏は1963年に「日本シルク・ロードの究明」と題する論考で、日本の郵便制度が出来た時に、横浜から各地への仕立郵便定額を定めた布告に揚げられた主な地名を繋いだルート、横浜-長津田-原町田-八王子-川越-高崎-富岡-甲府-上田を日本シルク・ロードと呼びたいと提案された。

生糸の主生産地としては1) 陸奥、出羽南部、2) 上州、武蔵、北信、3) 甲斐、南信、飛騨の三地域が挙げられる。事実、飛騨、前橋、奥州、甲州、八王子、信州、増田産の生糸あ

るいは絹が各商館の書簡に登場し、相場がつけられていた。なお、生糸の総(かせ)は産地により特徴がある[註：総とは運搬し易いように捩じりづくりした結束糸のこと。総を幾つも束ねたものを括(かつ)と言う。また、書簡によく出て来る生糸・絹の単位を挙げておく。1 梱(こり)= 1 擔(たん/ピクル)= 100 斤(キン)= 1 俵= 60kg]。

### 3. 居留民の諸相

開港直後、欧米の商社や商人が数多く日本にやって来た。主にすでに清国に進出していた商社だったが、本国から直接日本を目指した商社、商人も少なくない。英国公使館員アーネスト・サトウ Satow Ernest は「一外交官の見た明治維新」(岩波文庫版)の中で、イギリスの某外交官が横浜の外国人居留民を称して「ヨーロッパの掃溜」と言ったという有名な記述があるが、サトウ自身はこれに対し「それらの人々が他所にいる同階級の人たちよりも別に悪いとは思えなかった」とコメントしている。しかし「ヨーロッパの掃溜」という言葉は今日にいたるまで実証的検討を加えられることなく一人歩きしている」と元横浜開港資料館研究員の斉藤多喜夫氏は述べられている。同氏はまた横浜開港資料館紀要17号1999年3月での論考「横浜開港時の貿易事情・外国商社の進出と生糸貿易の始まり」の中でも、来日した外国商人すべて二流以下との旧説は批判され否定された、と言う。ところで、サトウが言う中国系商社と日本系商社とは、前者が香港や上海に本拠を置く商社の支店あるいは代理店で中国・日本の両市場、後者は横浜や長崎、神戸で設立され、そこに本拠を置く商社でもっばら日本市場を対象としていた。

#### 4. 商館と書簡

日本で最初に開業した外国商館は長崎出島のクニフラー商会 Kniffker & Co. とされている。1859年7月1日のことであった。

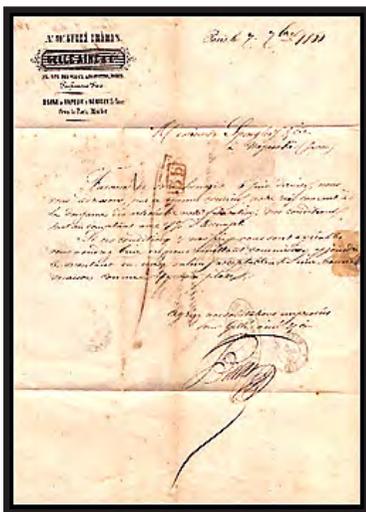
本稿では商館毎に創立時期、創業者、扱ひ品目などを概説し、当該書簡の文面を紹介する。その内容は殆どが純然たる商業文であるが、政治・経済の側面に触れている書簡も僅かにある。なお書簡の英文、仏文の和訳は筆者による。

#### スペンダラー商会 Spengler & Co.

(会社概要) スペンダラーは開国直前に来日し、1859(安政6)年長崎で開業した。しかし二度の火災で破産。1860年10月にピニヤテル商会に事業を譲渡し離日した。

書簡 01 (到着便) ジェレ長兄商会 GELLÉ Aîné & Co. 差立 スペンダラー商会宛 [図-1, 4]

1860年9月7日パリ→香港10月2日→11月14日長崎スペンダラー商会着、折畳式、料金 ナポレオン三世 無目打 80c 切手貼。



[図-4] 1860年9月7日 在パリ、ジュレ長兄商会 差立、長崎スペンダラー商会宛 折畳式

(書簡文面・仏語全文) 6月6日付貴簡拝受。本状にて弊社製品1ダースの通常見積価格をお知らせいたします。現金なら8%値引致します。この価格条件で宜しければ弊社宛に口銭をお支払い願いたく。商品代金は弊社に代わって指定先宛に送金願います。

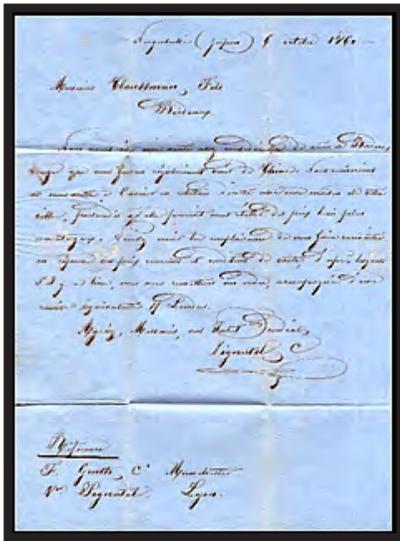
#### ピニヤテル商会 Pignatel & Co.

(会社概要) 1864年の舗行名簿では、在長崎ウジェンヌ Eugène の他、在芝罘で J.Pignatel の名前が記載されている。子供はヴィクトール Victor とシャルル Charles。1865-67年の期間はウジェンヌとヴィクトール父子2名。1868年には次男シャルル Charles も名簿に記載された。1869年にはピニヤテル父子3名に加えシャルル・ユオ Caharles Huot が見られる。1870年9月に父ウジェンヌ逝去で名簿から抹消、子供2人が記載された。1874年には次男シャルルは在佐賀、ユオに代わりクデ J.Couder の名前が見える。1875年には次男シャルルも長崎。3人体制は1880年まで続く。1881年にはシャルル不在となり、クデはピニヤテルを去り同地でフランス・パン店を開業。その後も頻繁に人事異動を繰り返した。

書簡 02 (差立便) ピニヤテル商会差立、ボルドー在クロスマン商会 Clossman & Co. 宛 [図-5]

1860年10月6日長崎→10月29日香港(英国局)→仏ボルドー12月15日着 折畳式、料金着払9デシム。

(書簡文面・仏語全文) 弊方は定期的に清国からボルドー赤ワインを取り寄せ多量に販売しておりますが、貴都市の会社と直接取引したいと思っています。直接取引するため、



[図-5] 1860年10月6日 在長崎、ピニャテル商会差立、在ボルドー、クロスマン商会着 折置式

その会社がより有利な価格を弊方に提示いただけるものと期待しております。貴価格と販売条件を折り返しお知らせいただければ幸いです。なお、価格と条件が折り合えば、ロンドン為替相場と同等の割引条件で御社に発注する所存です。

身元照会先:在マンチェスター:F.Genth, C、  
在リヨン:VorPignatell

書簡 03 (到着便) ルナル商会 Ed. Renard & Co. 差立 ピニャテル商会宛 [図-6]

1876年5月19日パリ→7月3日仏上海局→7月8日長崎・ピニャテル商会着。  
(書簡文面・仏語要旨) 田代屋 [註: 田代屋は横浜弁天通2丁目42番にあった田代市良治の経営する陶磁器商。舗行名簿に広告掲載していた] に対して価格が高いと苦情を受けました。しかし苦情主のマルトビ商会は取引を止めたいのであろうと思っています。ナガミ [註: 原文では Nagami。《横浜商人録》大日本商人録出版 1881 年には未掲載] または田代屋で注文の一部、特に安売りのバロック



[図-6] 1876年5月19日パリ・レナル商会差立、在長崎、ピニャテル商会宛 折置式

風大皿や取り皿を見つけられると思います。磁器はすべてフランス郵船での輸送が必要。フランス船がない場合でも欧州の他港に寄港する船舶は避けていただきたく。

書簡 04 (到着便) モントウイユ・フラン Montheuil Franc 差立ピニャテル商会宛

1876年7月13日モントウイユ→7月14日仏鉄道車内局→8月27日仏上海局→9月1日長崎ピニャテル着

(書簡文面・仏語要旨) 赤ワイン売上26箱の支払は為替相場が有利になるのを待って、売上代金148.20ピアストル Piastres [註: ドルと等価] を送金。可能なら書類一覧払 [註: D/P at sight のこと] を希望。4月13, 14両日、ボルドーなど隣接する県が寒波に見舞われ本年度の収穫量大幅減少。従って、数か月前からワイン価格高騰。特に上質と年代物ワインの値上が顕著。理由は1874年と1875年もの以外は各地で引張帆。上海や横浜には上質ワインの在庫がある筈。事実、上海には116箱あり、先月御社宛に上質年代

物、1865年または1868年のマルゴーおよびサン・ジュリアン[註：ワイン銘柄]の赤ワイン数箱を出荷するよう依頼いたしました。両銘柄ともボルドー渡し価格で1本3.5から4.0フラン。価格は請求書に記載。ただし、販売価格算出にはボルドーからのすべての経費と租税公課を加算。輸送費はボルドー・ロンドン、あるいはサザンプトンやその他英国内の港との間だけでなく英日間も考慮願いたく。さらに厳密に言えば、積替費用も掛かります。いずれにせよ外貨の損失は禁物。シモン・エヴァース商会宛にフランス帝国郵船の蒸気船にて上質年代物赤ワイン小箱30個と同白ワイン小瓶24本入り1箱を出荷いたしました。価格は赤ワイン1本3フラン、白ワイン1本4フラン。いずれもボルドー渡し価格。特別にワインをボルドーで船積しましたが、マルセイユでフランス帝国郵船の別船に積み替えられる予定です。どの船になるか現時点では不明故、シモン・エヴァース商会に照会下さい。もし同社が直ぐにワインを売り出さないようなら、御社に持ち込むよう伝言願いたく。長崎への直航は不可能故、上海および横浜から出荷させるように致します。今回は小瓶のワインを出荷予定です。

### トーレル・ジエグラー商会 Thorel, Ziegler & Co.

(会社概要) トーレル Charles Thorel の名前は、1863年版 The China Directory で横浜の欄に見られる。1861年1月、プロシアとの通商条約が調印され1864年1月に批准書が交換された。しかし、ハンザ都市は認めなかった。このため、当初ドイツ人は英国やオランダあるいはスイスの保護下で来日し創業せざるを得なかった。トーレルも英国人

として開港直後横浜に来着、英国領事館での登録第一号となった。その後、トーレルの名前は名簿では1867年版まで見当たらない。1868年版で横浜居留地159番にトーレル・ジエグラー商会として記載され、役職員はトーレル、ジエグラーに加えミルズ W.Mills、デュメリン A.Dumelin。他方、ジエグラーについては、1867年版横浜舗行名簿に横浜居住スイス人 Swiss Residents In Yokohama という一項が設けられていて、その中でジエグラーの名前を見つけることができる。本項で紹介する書簡からもトーレルが1860年に創業したトーレル商会 Ch.Thorel & Co. は1866年になるとジエグラーも経営に参画、社名をトーレル・ジエグラー商会に変更したことが分かる。ところが1869年版ではトーレル・ジエグラーはトーレル商会 Thorel & Co. として分社。トーレルの居留地50番にミルズとミューラーが加わった。また47番にはジエグラーとデュメリンの名前が見える。両社とも保険代理業や生糸などの貿易業を営んでいた。その後、トーレルは1875年版では居留地23番Aに移転しているが、1879年版ではトーレルの名前は消えている。ジエグラーの方は1875年版ではメリアン J.B.Merian が加わり1891年まで続く。ところが1892年版になるとジエグラーは不在となり、社名がジエグラー・メリアン商会 Ziegler & Merian に変更された。翌93年版ではジエグラーの名前は完全に消え、メリアン商会となり居留地47番に加え89番Bも取得して、ここに生糸部門を移している。その後、47番を引き上げ89番Bに集中したが、このメリアン商会も1897年版では消滅している。役職員が業務引継した形跡はない。



[図-7] 1864年9月30日在横浜、トーレル・ジエグラール商会差立ルプラン・ドウ・ミシヨ宛・折畳式

書簡 05 (差立便) トーレル・ジエグラール商会差立ルプラン・ドウ・ミシヨ Replin de Micheaux 宛 [図-7]。

1864年9月30日横浜→10月12日英国香港局→11月25日リヨン局ルプラン・ミシヨ商会着

(書簡文面・仏語部分)[註：原文第1頁欠落]・・・ご注文いただければ、たいへん幸甚に存じ、精一杯ご奉仕させていただきます。ロンドン為替市場 5/2、上海 75%、香港 7s 3/4 d. 弊社の身元照会先を参考に下記いたします：

在ロンドンおよびリバプール：ケータ-商会 J.W.Cater & Co.、在ミラノ：シザー・ロゾッティ商会 Cesar Rozzotti & Co.、在ベルガモ：ジャン・スチューナ父子商会 Jean Stuner & Fils. 参考：弊社会社案内書。

書簡 06 (到着便) クロード・クラーク商会 Claude Clerk & Cie. 差立トーレル・ジエグラール宛 [図-8]。

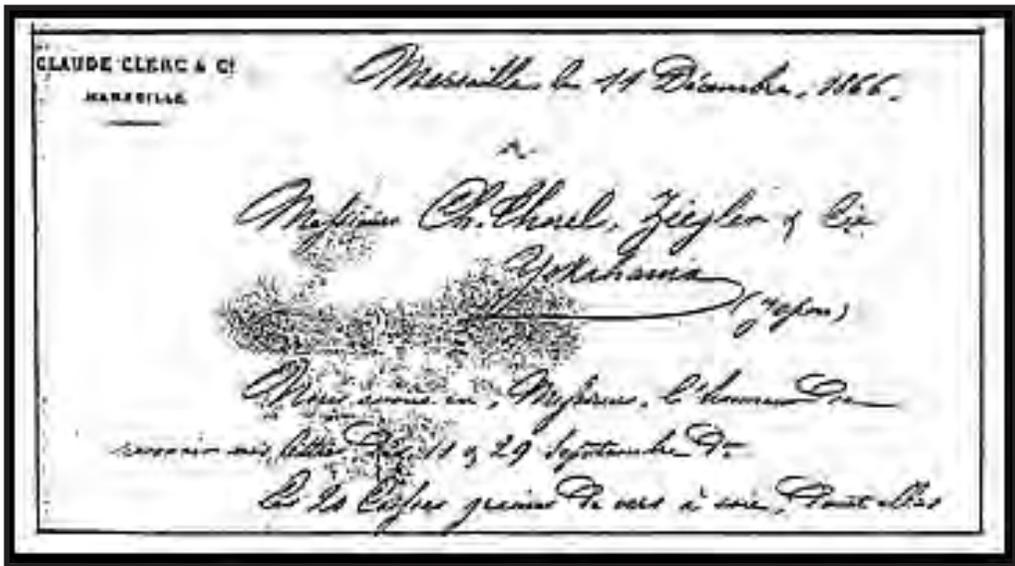
1866年12月11日 クロード・クラーク商会差立マルセイユ局→1867年2月4日 仏横浜局→同日トーレル・

ジエグラール着

(書簡文面・仏語全文) 9月11日および同29日付貴簡拝誦いたしました。ご案内いただいた蚕種 20 梱を損傷もなく落手いたしました。弊社では御社のご指示に従い、下記の通り転送することを確認いたします。CTZ/CNo.7 から 10 までの 4 梱包は在ベルガモのジオヴァンニ・スカルバル氏宛に、また同 11 から 27 までの 17 梱については在ミラノのシェルミ氏の注文書どおりといたします。なお、ロンドンのフレッド・ヒュース商会から残り CTZ/CNo.1 から 6 までの 6 梱用船荷証券を受領しています。同商会の指示に基づき出荷準備ができています。

書簡 07 (到着便) ゴールドシュミット商会 Goldshmid 差立トーレル・ジエグラール宛

1867年3月18日ゴールドシュミット商



[図-8] 1866年12月11日在マルセイユ、クロード・クラーク商会差立、  
1867年2月4日在横浜

会差立→3月19日仏郵船船内局→5月9日仏横浜局→トーレル・ジエグラール(書簡文面・仏語全文)フランス帝国郵船の受領書を同封いたします。梱包明細書8通11/20を含む見本入りケース、このケースは在ヴィンターサー Winterthur のジエグラール商会から送付され弊社に届きました。到着後、この見本をご自由に利用願います[註:横浜のジエグラール社は在ヴィンターサーのスイス・ロイド保険会社代理店]。

書簡08(到着便)フォレ・ヴェルニエ商会 Forrer-Vergnier 差立トーレル・ジエグラール商会宛

1867年5月11日フォレ・ヴェルニエ差立→リヨン局→6月29日仏横浜局→トーレル・ジエグラール商会着

(書簡文面・仏語全文)フォレ並びにヴェルニエの委任を受けて代理署名オシラン F.Ocillens。

先の3月16日付貴簡と行き違いになりま

したが、先月27日付弊簡を確認致します。先便以降、政治的難局の影響を受け、弊社業績は悲惨な状況でした。また、弊社では昨日迄価格を継続して徐々に引き下げておりました。ロンドン会議は上首尾との情報で、最終的に市場は活気づき、失地回復できればと思っています。しかしながら、豊作と言われる収穫への不安は払拭できず、今まで苦情一つない日本産蚕種に従来以上の期待を寄せています。とにかく政治的混乱の結末を待たねばならず[註:戊辰戦争のこと]、御社は平穩に過ごしておられると思いますが、弊社としては全季を通じて更に値上げせざるを得ないと思われま。9日以来ここ二日ばかり未だロンドン為替市場で何が起きているのか分かりませんが、前橋産生糸12/18の1ロットが33ピアストルで提示されました。ヒューズ商会で御社宛に7月21日期限で開設した信用状1万ドルに加え、更に御社に集約すべきと判断しております。大坂の土地に関してはヴェルニエ氏の逝去によって方針を変更

いたしました。弊社は横浜の共同所有で充分であり、貴地に於いてはこの種の事業から他分野に転換いたしました。いずれにせよ、ご提案いただいたことに感謝しております。現在パリ滞在中のフォレ氏はトーレルご夫妻にはたいへんお世話になったと礼を述べておられ、謝意を表するよう依頼を受けましたのでお伝えいたします。

書簡 09 (到着便) ゴールドシュミット商会差立トーレル・ジエグラール商会宛

1867年7月18日ゴールドシュミット商会差立→7月19日仏船内局→9月7日仏横浜局→トーレル・ジエグラール着  
(書簡文面・仏語全文) 明日出航の蒸気船にて御社宛に下記貨物を出荷することをご連絡いたします。IlyL63/94 見本2箱。なお、ヴィンターサーのジエグラール・グレント商会のご指示通り受領書を添付いたします。ご査収願います。

書簡 10 (到着便) シール商会 Schwanbeck & Thiel 差立トーレル商会宛

1869年12月5日シール商会差立→12月6日仏サイゴン局→12月20日仏横浜局→トーレル商会着  
(書簡文面・英語全文) 先般、前月20日付報告書をご提出いたしました。今回も引き続き助言させていただきます。先月の米の販売実績はかなり順調でした。しかしながら卸売商が鋭意価格維持に努めたにも拘わらず価格は徐々に下降いたしました。古米が新供給源になったのは事実ですが、新米契約はやや低調でした。本日の固定価格での見積は下記のとおり。新米1ピクル [60kg] 当たり 1.50ドル、古米1ピクル当たり 1.37ドル。新米

の品質は毎日改善されており、御社からの注文に対応するため大至急前向きなご返事をいたしたく思っており、すでに数隻の貨物船を確保しています。

弊社の市場報告書を参照願います。

**アンドレオッシ商会 Andréossi & Co.**

(会社概要) アンドレオッシ商会は社名のみが1865年版から67年版の名簿に掲載されている。ただし、68年以降は未掲載。当該書簡はエンリコ・アンドレオッシ Enrico Andréossi 宛でトーレル商会気付である。なお、表書では -ossi と名簿と同じ綴りだが、内側の商業文文頭では -ossy と綴っている。同氏の詳細は不明。

書簡 11 (到着便) ジュベール G.Joubert 差立、トーレル・ジエグラール気付エンリコ・アンドレオッシ宛

1865年7月27日ジュベール差立→仏鉄道車内局→10月4日横浜トーレル商会気付エンリコ・アンドレオッシ着

(書簡文面・仏語要旨) 競争が激しいので少しでも安く仕入れたい。販売実績向上のため営業活動のいっそうの強化が必要。良質の繭・品番18を指示した。一刻も早く商品を入手したい。市場に活気が戻るまでしばらく状況をみたい。段ボール箱は繭で酷く汚損される。繭が少ししか入らない不適格な段ボールは新品に代える配慮も必要。昨年、御社出荷の蚕種重量は13グラムに満たなかった。改善の見通しが立たない場合、代金をニコラ氏に返却願いたい。御社の改善策と共に価格連絡乞う。

開港当時の在日欧州系商館発着書簡 2、3  
に続く



# 「町田市子どもセンターばあん」での切手教室

東京都町田市の児童館「子どもセンターばあん」では、日本郵趣協会と早稲田大学切手研究会OB会が協力し、毎月、切手教室（「切っても切れない」切手あつめ）を開催しています。切手教室を始めた井上武志さんの話を中心に、新たな試みの切手教室をレポートします。（編）

切手教室の開催告知ポスター。左上には切手風のイラストとそれにかかる消印もデザインしてある凝りよう。



## ●当初は3回の予定が毎月開催に

「町田市子どもセンターばあん」での切手教室が始まったのは、昨年6月。日本郵趣協会会員で早稲田大学切手研究会OBの井上武志さんの働きかけがきっかけでした。

「切手教室の開催について、地元の町田市役所子ども生活部児童青少年課に相談したところ、『ばあん』でどうですかとの返答があり、後日『ばあん』を訪問し、切手教室の開催が決まりました」という。当初は3回だけの予定でしたが、子どもたちに好評で、毎月開催されるようになりました。

『ばあん』での切手教室の大きな特徴の1つが、お金のかかる未使用切手は対象とせず、使用済切手（紙付き切手）を対象としていること。子どもたちが自分で切手を水はがしし、好きな切手を自由に持ち帰つ



町田市子どもセンターばあんの切手教室会場。6つのテーブルそれぞれに紙付き切手を水に浸した洗面器が用意されており、子どもたちは好きな場所で切手の水はがしにチャレンジ！



切手教室を始めた早大切手研OB・井上武志さん。



早大切手研OBで、井上さんの後輩・池澤克就さん。



関東地方本部理事で草加支部所属・森本ゆかりさん。

てもらうようにしているといいます。

「今は切手を見たこともない子どもたちも多く、一種の“宝さがし”のようなゲーム感覚で参加している子どもも多いのではないのでしょうか」とのこと。

当初は井上さんが紙付き切手を用意していましたが、現在では町田市役所宛の郵便物からカットした紙付き切手を市役所から届けてくれているそうで、最近の記念切手もたくさん含まれています。



テーブルには予め新聞紙を敷き、紙付き切手を水に浸した洗面器を用意。



台紙から剥がれた切手をよくすすぎ、裏側にして新聞紙に並べていく。

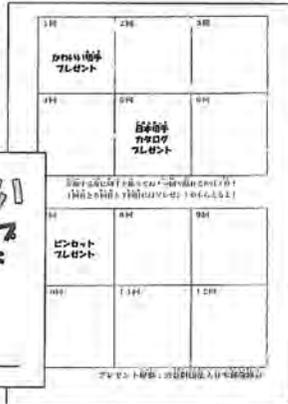


乾いてきたら切手を表にし、好きな絵柄の切手を持ち帰ることができる。

切手教室の参加者に渡される「スタンプカード」。参加するたびに切手を貼っていき、1回目にはかわいい切手を、5回目には日本切手カタログ、7回目にはピンセットをプレゼント。

切っても切れない  
切手集め♪ スタンプ  
カード

名前：



各地域の地図に該当する都道府県の切手を貼った「ご当地切手コーナー」も設置。



浅野はなさん(中3)。ほぼ毎回参加。食べ物や花、アニメなどの切手に興味。



子ども委員会委員長(高2)。今回初めて参加。絵本やアニメの切手がお気に入り。



中里海璃さん(小5)。初めて参加。最近おじいちゃんからコレクションを受け継ぐ。



渡辺やさん(小5)。初めて参加。かわいい切手が一杯あって、来て良かったと嬉しそう。



町田市子どもセンターばあんの石井館長。



切手教室の前担当者・岡本徹平さん。



現在の切手教室の担当者・池上浩彰さん。

べ物の切手や花、アニメキャラクター、ディズニーの切手などを集めているとのことでした。

この日の切手教室には井上さんのほか、日本郵趣協会会員の池澤克就さん、森本ゆかりさんも参加し、子どもたちをフォローしていました。また日本郵便東京支社の方も視察に訪れるなど注目が集まっています。

「早稲田大学切手研究会OB会の仲間は全国に100人程いますので、今後は各地でこうした切手教室を開催していきたいと思っています」と今後の抱負を語る井上さん。こうした取り組みが全国各地に広がっていくことを願っています。

『ばあん』の切手教室担当者(今年3月まで岡本徹平さん、4月から池上浩彰さん)にも熱心に取り組んでいて、切手や消印をデザインした開催告知ポスターを作成したり、「ご当地切手コーナー」なども独自に設置。みんなでマスクを着用するなど、新型コロナウイルス感染防止にも取り組んでいます。

●ルールを押し付けない

切手教室のもう1つの大きな特徴が、「細かいルールはなし」ということ。「子どもたちに場所と材料は提供しますが、それ以外には細かいルールや集め方を押し付け

ないのがポイントだと思います」と井上さんは語ります。

集め方などの講義をしなくても、子どもたちは水はがしでおしゃべりしながら手を動かしていると退屈もせず、最後にはたくさん切手を嬉しそうに持ち帰っているそうです。「講義が中心になるのではなく、習うより慣れてもらふこと」を大切にしているといいます。

取材に訪れた9月17日にも多くの子どもたちが参加しており、ほぼ毎回参加しているという浅野はなさん(中3)はストックブック一杯の切手があるといい、特に食



町田市子どもセンターばあんは風景印にも描かれている(南郵便局の風景印)。

郵趣☆2020年12月(907) 35

# 切手の世界で暴走し、孤立する日本

クラスターからも弾き出され

小川 義博

コロナで思い出し、15年前の20号に書いた切手のクラスター (<http://www12.plala.or.jp/kawaya/img/003stamps1.pdf>) について、76号最終ページでふれた。未だに、各地に出現しているコロナのクラスターを知るにつけ、日本切手はまだ他国と一緒にクラスターに存在できているのか調べてみたくなった。

15年前と異なり、老眼は進行、乾燥指、そして6冊を超える重いSCOTTの扱い等からカタログでの検討は無理と考えた。そこで考えたのがネットの利用である。UPU(万国郵便連合)のThe world's largest stamps databaseである。最近、デザインを一新し、Statisticsというサイトが設けられ、2002年～2020年間、194の地域と国の切手発行数の資料が掲載されている。この資料、空欄が多く、全体として使用できず、96の地域と国の2002年から2018年の17年の地域と国を選択し、他の資料から数値を補充し資料として検討することにした。ドイツ、オランダ、アイルランド等はUPU資料に無いのでミッヘル、中国はJPSカタログの資料を利用した。検討対象とした地域と国は表1の通りである。しかし、残念ながらUPUの資料はわが国の数値などから正確さに若干不安を感じる点があることを頭に検討することが必要である。

先ず、今回の資料を検討し、その結果を

15年前の考察と比較できればと考えた。

## 国別切手発行枚数

17年間の各国の発行数の平均とSDを整理したのが表2であり、年間約400種から10種に満たない発行の国まで非常に差がみられる結果である。さらに発行数の多い順に20ヶ国をグラフ化してみると、わが国の際立つ多さと、ほとんど国がOECD加盟国であることが注意される(図1)。OECD加盟国でないのはIndia, Russia, Thailand, Ukraineの4ヶ国だけであり、経済力が切手発行に影響を持つと感じさせるが、北欧4ヶ国、バルト3国、Switzerland, Germany, Austria, Korea等は年間60種程度の発行で堅実さを感じさせる数値と経年推移である。

次に、17年の発行数の推移を整理すると興味深い傾向がみられた。図2に示すようにOPEC加盟国とその他の国で発行数の推移が全く異なる。その他の国は17年間発行数の

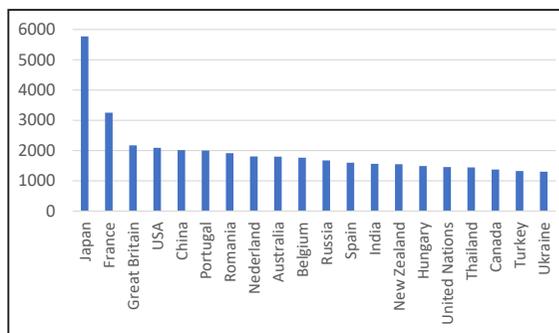


図1. 17年間(2002年～2018年)の発行種類数の多い20ヶ国

表1. 検討対象地域・国

Algeria	Andorra (F)	Andorra (S)	Argentina	Armenia	Australia	Austra. Antarctic Ter.	Austria
Azerbaijan	Azores	Bahrain	Barbados	Belarus	Belgium	Bermuda	Bosnia Her- BH Post
Bosnia Her-Rep	Botswana	Brazil	Canada	Chile	Christmas Island	Cocos Islands	Colombia
Croatia	Cyprus	Czech Republic	Denmark	Dominican Rep.	Ecuador	Egypt	Estonia
Faroe Islands	Fiji	Finland	France	French Polynesia	Fr. Antarctic Terri.	Germany	Great Britain
Greece	Greenland	Hong Kong (PRC)	Hungary	Iceland	India	Ireland	Israel
Italy	Japan	Kazakhstan	Kiribati	Korea Republic	Latvia	Liechtenstein	Lithuania
Luxembourg	Macao, China	Madagascar	Madeira	Malta	Mexico	Monaco	Morocco
Myanmar	Nederland	New Caledonia	New Zealand	Norway	Pakistan	Paraguay	Poland
Portugal	Romania	Ross Dependency	Russian Federation	Saint P. and Miq.	San Marino	Saudi Arabia	Serbia
Slovakia	Spain	Sweden	Switzerland	Syrian Republic	Thailand	Tunisia	Turkey
Ukraine	United Arab	United Nations	U.S. A.	Uruguay	Vatican	Viet Nam	China

表 2. 95 国 の 17 年間の平均発行数と標準偏差 (SD)

国・地域	発行総数	年平均発行数	SD	国・地域	発行総数	年平均発行数	SD
1 Japan	*5771	339.5	154.9	49 Liechtenstein	643	37.8	6.5
2 France	3252	191.3	65.4	50 Armenia	630	37.1	17.2
3 Great Britain	2173	127.8	28.6	51 Luxembourg	629	37.0	5.9
4 USA	2090	122.9	36.6	52 Dominican	622	36.6	29.1
5 China	2014	118.5	15.9	53 United Arab	590	34.7	13.3
6 Portugal	2000	117.6	18.1	54 Viet Nam	589	34.6	17.1
7 Romania	1913	112.5	35.5	55 Bosnia	568	33.4	4.3
8 Nederland	1806	106.2	17.3	56 Egypt	561	33.0	17.9
9 Australia	1797	105.7	41.4	57 Denmark	560	32.9	6.7
10 Belgium	1765	103.8	18.1	58 Iceland	557	32.8	4.6
11 Russia	1675	98.5	24.0	59 Norway	557	32.8	4.5
12 Spain	1598	94.0	5.1	60 Vatican	553	32.5	5.0
13 India	1561	91.8	57.6	61 Lithuania	549	32.3	4.3
14 New Zealand	1548	91.1	15.3	62 New Caledonia	545	32.1	7.9
15 Hungary	1489	87.6	38.8	63 Algeria	535	31.5	8.7
16 United Nations	1455	85.6	34.8	64 French Polyn.	532	31.3	6.0
17 Thailand	1442	84.8	38.5	65 Chile	528	31.1	22.4
18 Canada	1373	80.8	22.7	66 Latvia	515	30.3	10.7
19 Turkey	1325	77.9	20.8	67 Estonia	505	29.7	3.8
20 Ukraine	1304	76.7	14.3	68 Faroe Islands	501	29.5	6.3
21 Italy	1285	75.6	15.2	69 Paraguay	495	29.1	12.3
22 Ecuador	1151	67.7	33.4	70 Herzegovina BH	482	28.4	10.1
23 Poland	1126	66.2	18.0	71 French Antar	470	27.6	11.9
24 Brazil	1099	64.6	31.0	72 Fiji	455	26.8	11.4
25 Mexico	1092	64.2	18.9	73 Saint Pierre	450	26.5	6.1
26 Austria	1087	63.9	12.3	74 Pakistan	448	26.4	12.6
27 Hong Kong	1077	63.4	14.1	75 Slovakia	431	25.4	3.5
28 Korea Republic	1036	60.9	16.8	76 Tunisia	425	25.0	6.4
29 Macao, China	1026	60.4	7.6	77 Cyprus	420	24.7	6.4
30 Germany	1020	60.0	6.1	78 Syrian Republic	420	24.7	7.4
31 Finland	1012	59.5	10.2	79 Morocco	417	24.5	8.7
32 Sweden	982	57.8	4.8	80 Greenland	375	22.1	5.0
33 Uruguay	953	56.1	15.0	81 Botswana	362	21.3	8.8
34 Argentina	925	54.4	22.5	82 Bermuda	358	21.1	5.5
35 Colombia	897	52.8	28.8	83 Christmas Island	355	20.9	4.8
36 Ireland	892	52.5	17.2	84 Barbados	324	19.1	11.6
37 Greece	890	52.4	10.8	85 Kiribati	324	19.1	11.9
38 Israel	883	51.9	9.0	86 Saudi Arabia	303	17.8	11.0
39 Belarus	856	50.4	9.9	87 Bahrain	266	15.6	10.5
40 Malta	850	50.0	21.9	88 Andorra (F)	251	14.8	3.6
41 Monaco	846	49.8	11.9	89 Andorra (S)	188	11.1	2.0
42 Switzerland	811	47.7	3.3	90 Madeira	150	8.8	5.6
43 Azerbaijan	801	47.1	16.3	91 Azores	144	8.5	2.9
44 San Marino	773	45.5	11.7	92 Cocos Islands	129	7.6	5.9
45 Kazakhstan	764	44.9	18.8	93 Madagascar	126	7.4	7.0
46 Croatia	743	43.7	6.1	94 Australian Antar.	107	6.3	2.3
47 Serbia	699	41.1	26.9	95 Myanmar	98	5.8	5.1
48 Czech Republic	698	41.1	6.0	96 Ross Depend.	89	5.2	0.4

\* 日本の合計数 5771 は正確には 6154 であり、UPU のカウントの基準が独自のものか、ミスか不明。

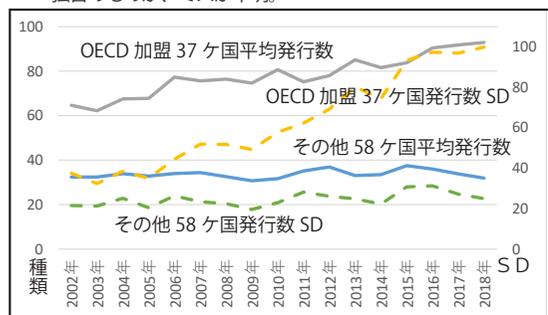


図 2. 17 年間の平均発行数の推移

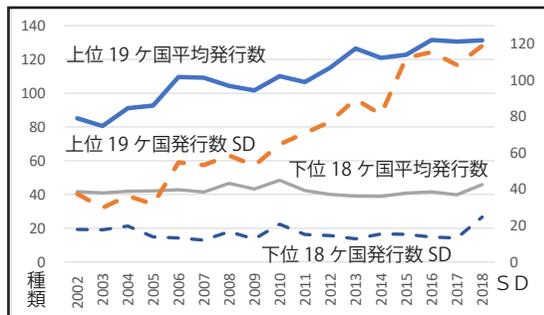


図 3. 17 年間の OECD 諸国平均発行数の推移 (上位 19、下位 18 国)

変化と国によるばらつきに変化がみられないのに対し、OPEC 加盟国は発行数が 60 から 93 に増加し、それにも増して SD が 32 から 99 と 3 倍になり、国によるばらつきが著しくなっていることを示している。そこで OPEC 加盟国を 2 分割して整理したのが図 3 である。増加の少ない 18 ケ国は 17 年間落ち着いた発行がされてきたのに対し、増加が目立つ国 19 では増加に伴い SD も大きくなり、17 年間に国によるばらつきが非常に大きくなってきたことが明らかである。増加の少ない 18 ケ国で発行数が 17 年間で 1.5 倍以上になったのは Colombia、Czech Republic、Finland にすぎなく、各国とも SD は小さく変動の少ない値であった。一方、増加が目立つ国 18 では 1.5 倍以上の国は Japan、France、Romania、Turkey、Great Britain、Canada、Poland、New Zealand、Hungary、Austria、Australia と 11 ケ国であり、特に Japan、France が 4 倍近い増加であり、ばらつきを大きくしている元凶の様である。

### 17 年間の発行をクラスターに整理

今回の検討資料から多変量解析のクラスター分析にかけるには変量がやや不足だが、96 ケ国を計算すると下のようなクラスターに整理できた。前回とは期間、対象国も異なり比較はできないが、JAPAN は孤

立、France がどうにか孤立を逃れたという感である。左クラスターから順次増加が多いクラスターとなり、異常な増加の JAPAN が孤立という理解ができる。次に、平面で確認したく、主成分分析で検討してみた、変数が発行数だけであるから、発行数の変化が第

1 の主成分になり 78.5 の寄与率で単純な結果になるのは当然で前半、後半で増加程度が異なることが座標に変化を与えていると考える。対象と DATA 数も異なり前回の考察と比較するのは問題であろうが、2つの分析で大きく異なる結果である。このように、危惧し

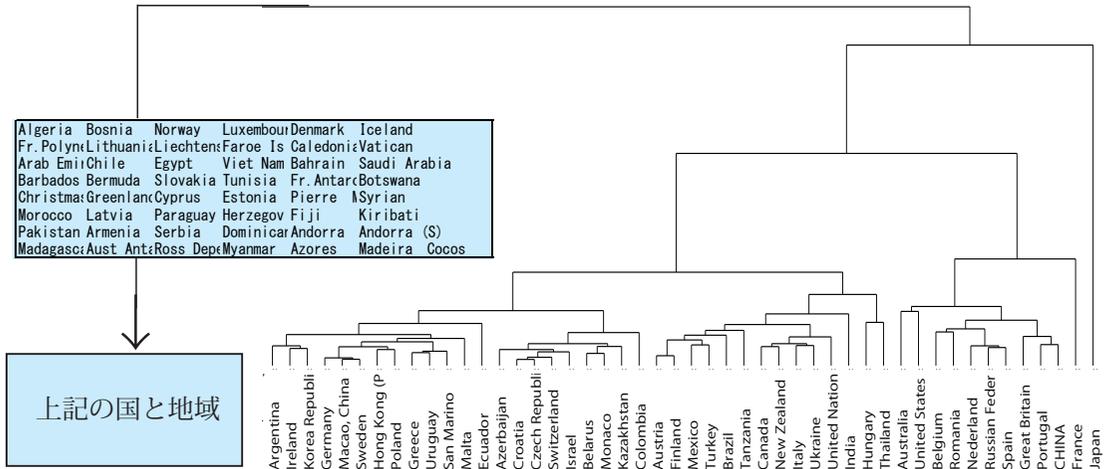


図 4. 96 の国と地域のデンドグラム

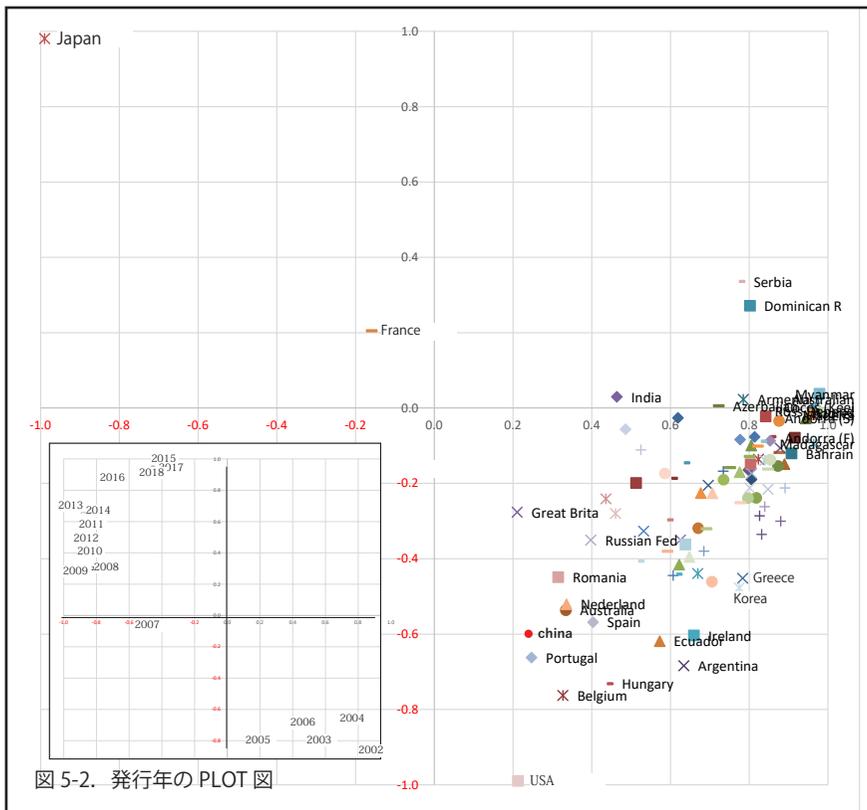


図 5-1. 96 の国と地域の主成分分析結果の PLOT 図

た通り、日本の切手発行は完全に世界の切手発行の中ではどの国ともクラスターを組めない孤立した存在となっていた。

参考までに身近な国、OECD37ヶ国等と同じ分析を行ってみたのが図6、7である。基本的には図4、5と差はないが、身近な国が比較対象になるだけにより理解を深められる結果である。今後、わが国が発行数を減じクラスターに復帰できるようになるのか、他の国が発行数を大幅に増やしてわが国と新たなクラスターがみられてしまうのか注視していきたい。ぜひ、わが国が他国と同じようなクラスターに復帰できるよう変化してほしい。

参考：15年前の日本が存在していたクラスターは MONACO、BRAZIL、ITALY、JAPAN、FRANCE、SWEDEN、PHILIPPINES、KOREA、YUGOSLAVIA、IRAN の10ヶ国のクラスターであった。また、孤立していたのは共産政権時代の影響が大きかった RUSSIA(ソ連) が孤立し、次いで TANZANIA が孤立傾向の存在であった。

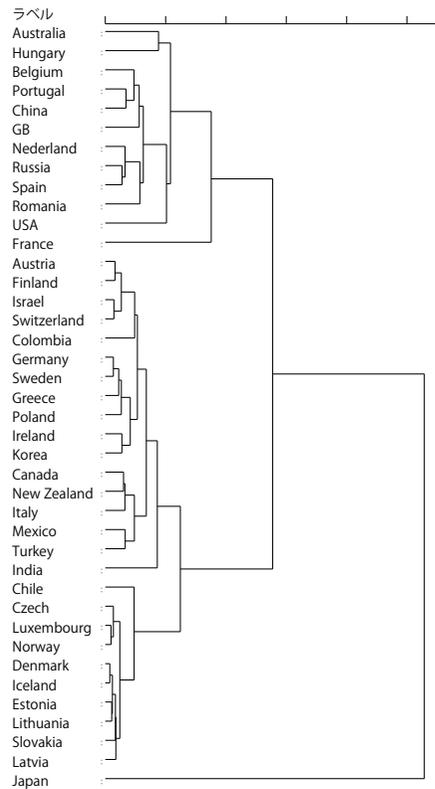


図6. OPEC加盟国等のデンドグラム

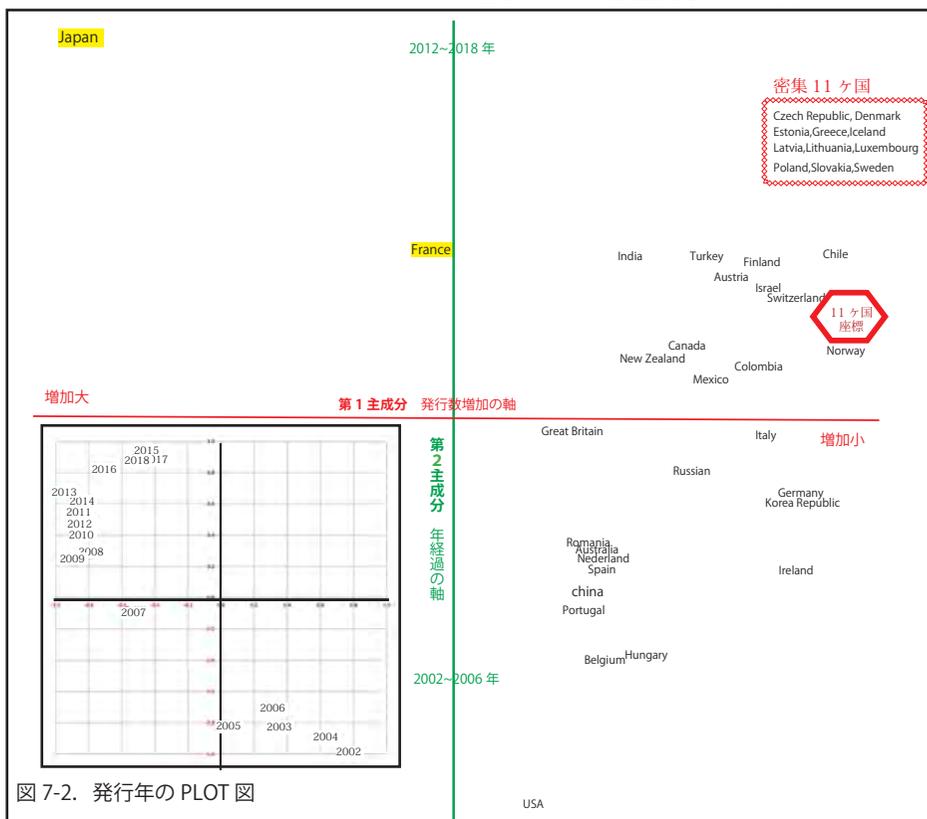


図7-2. 発行年の PLOT 図

図7-1. OPEC加盟国等の PLOT 図

# 花と鳥の小さな自然誌 (3)

高橋 仁

## ルリビタキ

野鳥に興味を持ち始めたばかりの頃であった。福島潟でウオッチングしていたとき、先輩カメラマンが自慢そうにルリビタキの写真を見せてくれた。

「山へ行かないと撮れないんでしょう」

「街中の公園へ来ることもあるよ」

間もなく、その公園で実物を見ることが出来た。美しい！自分を野鳥のとりこにしてくれた鳥である。



ルリビタキ ♂



ルリビタキ ♀

## オオヒシクイ

福島潟へ行く途中、道路脇の田んぼに黒っぽい大きな鳥がいるのが目に入った。早速車を止めてみるとオオヒシクイではないか。うれしくなって少し近づいたら、餌を食べるのをやめて首を上げた。



オオヒシクイの飛翔



警戒しているオオヒシクイ

ビュー福島潟で行われたオオヒシクイ保護のシンポジウムに、縁あって中段の写真が使われることになった。ところが、首をあげているのは警戒している様子なので、このように驚かせないでくださいという、悪い見本(?)として紹介されてしまった。

## コハクチョウ

ハクチョウには、コハクチョウとオオハクチョウがいる。コハクチョウはオオハクチョウと比べて小形で、クチバシの黄色い部分も小さい。飛来しているハクチョウのほとんどは、コハクチョウである。

新潟市には、鳥屋野潟、佐潟と福島潟があり、隣の阿賀野市には瓢湖がある。いずれも



飛翔（ビッグスワンをバックに）



カルガモの親子



コハクチョウ（瓢湖）

ハクチョウの渡来地として知られている水辺である。特に瓢湖は、1954年、「白鳥おじさん」こと吉川さんによって初めて餌付けに成功し、さらに、国の天然記念物に指定された。

ハクチョウは、夜は水辺で休むが、昼間は近くの田んぼへ出かけて落穂などを食べている。主食は、われわれと同じで、コシヒカリだといってもいいのかもしれない。

3月の北帰行まで、毎朝、我が家の上をコウコウと鳴きながら餌場へ飛んでいく。

### カルガモ

鳥屋野潟の近くの用水堀でカルガモの親子を見つけ、カメラを向けた。すると突然親ガモが飛び上がり、目の前でバタバタと凄まじい音をたてて羽ばたき始めた。何かとびつくりして、しばらく親ガモに気をとられていた。ふと気が付いて子ガモを探したが、すで



親ガモの擬傷

に姿を消してしまっていた。

これが傷ついた真似をして、注意を引く動作の“擬傷”というものだったのかと、改めて親鳥を見たら、何事もなかったように普通に歩いていた。まさに親鳥の思う壺にはまったのであった。

### キジ

国鳥・キジ。この頃、人工孵化したうえで放鳥されたと聞いている。我が家の庭にも現れることがあるのだから、よほど増えているのであろう。



近所の人から、車の通る田んぼ道の草むらに巣があると教えても



1950年 航空切手



雌鳥の抱卵



卵の殻

らった。無防備にも程がある場所なのである。雌の親鳥が抱卵していたのだが、気をつけて見ないと枯れ草と見分けがつかない程であった。保護色とはこういうものかと感心してしまった。

後日もう一度見に行ったら、卵の殻だけが散乱していた。

## トキ

平成 20 年 9 月 25 日の佐渡市新穂地区でトキの試験放鳥が行われ、10羽のトキが放たれた。昭和 56 年に佐渡で野生のトキがいなくなってから 27 年が過ぎ、再び大空にトキが帰ってきたのである。

12 月 4 日、そのうちの 1 羽 (No.3) が佐渡海峡を越え、胎内市、関川村を經由して新



放鳥されたトキ (左上・秋篠宮ご夫妻)

らった。無防備にも程がある場所なのである。雌の親鳥が抱卵していたのだが、

潟市秋葉区まで飛んで来た。朝 7 時頃、ねぐらから餌場の田んぼへ出てくる。一旦水路で餌を探しはじめると、2～3 時間は顔を出さない。そして、夕方 4 時ころねぐらへ戻っていくのが日課であった。

この個体はなかなかの猛者(?)で、この後、佐渡と本州の間を 6 往復したとのことであった。

平成 22 年 4 月、新潟市西蒲区へトキが飛来したという報道があったが、広すぎて探してみようがない。西蒲区に住む友人に、噂を聞かないか尋ねてみたところ「仁箇堤あたりらしいよ」との返事。

双眼鏡を覗いていると、1 台の車が止まり「トキを探しているのですか。向こうに居ましたよ。一緒に行きましょう」とのこと。まさに神の声であった。



繁殖羽で黒い



新潟市美術展・奨励賞受賞

「家の裏の田んぼにトキのような鳥がいる。見てくれないか」と隣の集落 (江南区嘉瀬)に住む友人から電話があった。車で 3 分くらいのところへ飛んでいくと、友人たちが待っていてくれた。



1960 年  
国際鳥類保護会議



2015 年  
普通切手



12月の午後4時過ぎ、すでに薄暗くなってきたが撮影することができた。その写真を個体識別のため環境省へ送った。翌日の新聞に「市民の撮影した写真で個体を確認できた」と掲載された。

環境省が個体を識別した写真

### オオタカ



秋葉区の県立植物園でボランティア活動をしていたある日、園地の池畔で植物観察の手伝いをしていた。ふと、池を見るとオオタカが浮かんでいるのではないか。

何をしているのかしばらく理解できないでいると、足下に鳥の姿が見えた。コガモのようである。猛禽類が獲物を水に沈め、窒息させると聞いたことがあった。まさにそれが目の前で行われていたのである。残念ながら、



コガモか？



悠々と食事

獲物を陸に揚げるときは葦の陰になって、見ることができなかった。

### アカゲラ



1984年  
特殊鳥類シリーズ

「軒先でコツコツと音がするけど何だろう」と息子が二階から降りてきた。「キツツキかもしれないぞ」とみんなで

外へ出てみると、アカゲラがわが家をつついていてた。この冬は撮影に行くときアカゲラを多く見かけていた。わが家でも何度か庭の松の木に止まっていたし、木をつつく音を寢床の中で聞いたことさえあった。それにしても、築80余年の家は餌を探す値打ちがあるほど、虫たちの棲家になっているのかなと少し寂しかったのであった。

そもそも望遠レンズを買おうと思ったのは、以前庭の松の木にアカゲラがやって来たとき、大きいレンズがなくて撮影できなかった



わが家の軒先をつついていている♂



成鳥♂（後頭部が赤い）



成鳥♀（後頭部に赤色がない）

たからである。今、楽しく鳥を追いかけているのは、アカゲラのお陰かもしれない。

### ノゴマ

息子が小学生のころ、我が家の窓ガラスに小鳥がぶつかり、落ちてしまった。初めて見る鳥だった。息子は自分で調べてきてノゴマと分かり、鼻高々である。そこで、剥製にして残すことにした。

以来、長い間会えなかったが、一昨年（平成28年）やっと撮影することができた。やっぱり胸の赤が印象的な、可愛い小鳥であった。



### ヒレンジャク/キレンジャク

ヤドリギの実が大好きといわれるレンジャクの仲間。野鳥の会の人たちに聞いても、ここ4,5年は見ていないといわれた。ところが今年はずっとレンジャクの情報を耳にしていた、一度会いたいと願っていた。しかも、じゅんさい池公園へ来ていると連絡をもらって行ったものの、飛び去った後だったりして悔しい思いをしていた。そんな折、阿賀野市の阿賀野川河畔へヒレンジャクが来たという情報があった。

7,8羽がヤドリギに群れ、実を食べていた。そして時々休憩しては粘っこい糞をぶら下げる。この粘りが樹木に着きやすく、半寄生のヤドリギが増えるのに一役かっているのである。



キレンジャク（尾羽の先が黄色）



ヒレンジャク  
（尾羽の先が赤い）

ヤドリギの実を  
食べた後の糞

### マナヅル

「十日町市にマナヅルが来ている」とのメールが届いた。遠いので二の足を踏んでいたが、小千谷市の仲間に連絡すると、早速様子を見に行き行って撮ってきたとのこと。土地不案内なので連れて行って欲しいと頼んだら快諾し、お昼まで用意して待っていてくれた。



田んぼで餌採り

集落と信濃川の土手に挟まれた田んぼで、スマートな体を折り曲げて餌を採っていた。50m近く離れていたが、1時間ほど遊んでくれた後、川の中洲の方へ飛び去った。

# 第52回 稲門フィラテリー常設切手展 「1964年（昭和39年）の東京オリンピック」

稲門フィラ常設展は今回で第52回になります。

今回の展示は、1964年（昭和39年）の東京オリンピックを思い出していただくという趣旨で構成しました。

1964年東京オリンピックを記念して発行された日本の記念切手だけではなく思い出ある他の収集品なども並べました。

外国で発行された記念切手に加えて、国鉄の記念乗車券や記念急行券、都電・都バスの記念乗車券、さらには国道1号線静岡県富士市を走る聖火リレーや開会式当日新宿から見た五輪を描いた記念飛行機雲などの秘蔵オリンピック写真などを紹介しました。

今回の常設展は昨年夏開催予定の東京オリンピックを盛り上げようと準備していましたが、東京オリンピック延期が決定されたことで展示も1年遅れとなりました。

記 磯野昭彦

東京オリンピックの記念切手5円と記念航空書簡は1964年9月9日に発行されています。



## こんなところに郵趣資料が

ご存知の会員も多いと思いますが、昨年8月、世界中で発信される日本文化に関する美術品や書籍などのデジタル資料100万件をオンラインで検索できるサービス「Cultural Japan」が公開されました。このサイトを利用して思わぬ資料を見つけたり、長年探していたものを見つけることができました。紙面に空白が生じたので紹介させていただきます。(https://cultural.jp)

先ず、「切手」では商品切手、官報などがヒットしますので、「郵便切手」で検索すると、切手でなく切手帖、類鑑、郵便資料等がしらべきれないほどがヒットした。

1900年 逓信省通信局発行 木箱入り 4P

「東宮御婚儀祝典郵便切手」を見ると



1930年 日本飛行郵便協会発行 136P

「大日本郵便切手類鑑」を見ると



現在の切手カタログである。現在より詳しい説明が記され、右下に小さく時価が記されている。

1921年 逓信省発行

「記念郵便切手帖」

明治銀婚から万国郵便連合加盟50年まで切手と内容説明、記念印が記されている。



こんなものも見つかった。

1896年 発行者不明 76P

「大日本帝国郵便切手模造略誌」

模造切手の書である。



外国切手の資料も見つかる。

1938年 逓信省通信博物館発行 76p

「各国の国際オリンピック大会記念郵便切手」



探しもとめていた切手趣味週間切手の原面  
を見つけることもできた。

1957年切手趣味週間 鈴木春信 まりつき  
東京国立博物館蔵 鈴木春信 手鞠つき

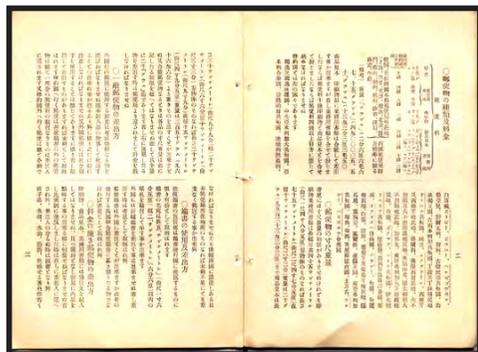


1959年切手趣味週間 鳥文斎栄之 浮世源氏  
鳥文斎栄之画「浮世源氏八景幻 落雁 薄雲  
晴嵐」 1797-1799年 メトロポリタン美術館



切手だけでなく郵便全般に関する資料が多数見  
られる。

1902年 横濱郵便電信局発行  
「外国郵便電信心得」



1911年 逓信省発行  
「改正 郵便線路圖」



北日本郵便線路



北海道郵便線路

風景印も知ることができる。

1935年逓信省郵務局 逓信協会発行  
「郵便局の名所スタンプ第2輯」



(編集子)

## 会員の他郵趣誌寄稿記事

小林 彰会員 発表原稿

誌名	月号	NO	表題	発売元
「切手研究」	2020年 11月	488/489 合併号	「初見・ペイル兄弟妹エリーズ Elise 宛 カバー」	切手研究会
Stampedia Philatelic Journal 2020	2020年 11月		「在横浜フランス郵便局横浜外国人 居留地 発着郵便物」	無料世界カタログ スタンベディア (株)
「郵趣研究」	2021年 2月		「初見・ペイル兄弟妹エリーズ lise 宛 カバー」	日本郵趣協会

### 20周年事業実行状況

20周年を記念し予定された事項は下記の通り実施、または予定されています。

#### 1.20周年記念切手展

2021年11月 切手博物館で開催予定

#### 2. 稲門フィラテリーホームページの作成

2020年11月より

<http://www.talcen.com/tofila.html> に開設

#### 3. 会報「稲門フィラテリー」国会図書館に 41号～80号を10号毎に製本し寄贈

41号～70号までは3巻に製本し寄贈済。

71号～80号は本年末に製本し寄贈予定。

### 前島密に加えてポスクマが登場

来月14日に1円グリーティング切手としてポスクマが登場する。かわいい切手という希望が多く寄せられたという。1億匹のポ



スクマが出現する。1円切手はこれで24種が発行されたことになる。そのうち6種が前島密だ。今後、図柄が変わったポスクマが毎年春秋？に発行されるのだろうか。普通切手に代わるグリーティング切手が増えてくるのであろうか。



本会報バックナンバーカラー版を下記でご覧いただけます。  
<http://www.talcen.com/paper.html>

### 編集後記

前回東京オリンピックの頃、どこかの教授が女子大生亡国論を唱えて、世間の目を集めた。あれから半世紀、また同じ精神的背景の発言が昭和じいさんから発せられ、オリンピックを増々危うくしてしまった。会員の全員が昭和じいさん、おじさんの稲門フィラテリーの潜在意識に同じものが潜んでいないか反省してみたい。

発行日：2021年3月1日  
発行・著作：稲門フィラテリー  
発行人：青柳次男  
〒150-0002  
渋谷区渋谷 1-11-3 正栄ビル 4階  
(株)英国海外郵趣代理部内  
稲門フィラテリー事務局  
編集担当：池澤克就 小川義博

本会報からの無断掲載・複製は、メディアを問わず禁止します。